

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
地理歴史	地理総合	2単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	世界の地理条件、各国や諸地域の位置関係や自然環境の特徴を把握し、そこから生じる諸課題を理解することは、地歴公民科のすべての学習や国際化における今後の生活につながります。遠く離れた地域の暮らしに思いをはせる想像力が大切です。画像などの資格資料も活用しながら、イメージを作り上げて学習しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社「高等学校地理総合～世界を学び、地域をつくる～」 <副教材> 第一学習社「地理総合ノート 学習事項の整理と作業」 帝国書院編集部「新詳高等地図」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	諸地域の地球上の位置、自然環境や文化、今日的課題についての知識を身に付けている。それらを理解するための資料などを適切に選択し、活用することができている。	地理的条件と人々の暮らしの結びつきの法則を考察し、地理的な見方・考え方を身に付ける。今日的課題の解決について、諸資料や知識を結びつけながら考察している。	世界の人々の暮らしや今日の課題に対して、学びの中で自ら疑問を探し、その解決を図ろうとするとともに、自ら足りない学びの部分を補うなど、粘り強く地理学習に取り組んでいる。

月	単元	学習の内容	評価方法						
			知・技	思・判・表	主体的				
4	A 地図や地理情報システムで捉える現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システムと現代社会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【1学期中間考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 発 提				
5									
6	B 国際理解と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化の多様性と国際理解 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【1学期期末考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 発 提				
7									
9						<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題と国際協力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期中間考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 発 提
10									
11	C 持続可能な地域づくりと私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題と国際協力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期期末考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 発 提				
12									
1									
2	C 持続可能な地域づくりと私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と防災 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【学年末考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 発 提				
3						<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の調査と地域の展望 			

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
地理歴史	歴史総合	2単位	2年	必履修
選択条件				
対象者	2年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	いまの社会は過去から引き継がれてきたものであり、未来につながるものです。現在と未来の諸課題を解決するには、過去の歴史を知ることが大切になります。変えるべきものは変え、守るべきものは守らねばなりません。映画、小説、音楽、漫画、ドラマなどを通して様々な歴史に興味関心を高め、過去の出来事だけでなく、今の私たち、未来の自分に関わるものにしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社「新歴史総合～過去との対話、つなぐ未来～」 <副教材> 第一学習社「歴史総合ノート 学習事項の整理と問題」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	近現代の歴史変化に関する出来事について、世界とそ の中の日本との係りを広い 視野から捉え、現代の諸課 題に関わる近現代の歴史を 理解している。 様々な資料から情報を適切 かつ効果的に調べまとめる 技能を身につけている。	近現代の歴史変化に関わる出来事の意 味や意義、特色などを時期、推移、比較、 相互関連、現在への影響などに着目し て、多面的・多角的に考察することがで きる。 考察したことを効果的に説明し、議論 することができている。	近現代の歴史に関わる出来事 について、見通しを持って学習 にとりくもうとしている。 近現代の歴史的变化について、 よりよい社会の実現を視野に 課題を主体的に追及、解決しよ うとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1部 歴史の扉 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち	1. 歴史と私たち	ワ	ワ	観 提 発
5		第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設	定	定	
6		【1学期中間考査】 第3節 結びつく世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容			
7	第2章 国際秩序の変化 や大衆化と私たち	【1学期期末考査】	ワ	ワ	観 提 発
9		第1節 第一次大戦と大衆化社会	定	定	
10		【2学期中間考査】	ワ	ワ	観 提 発
11		第2節 経済危機と第二次世界大戦	定	定	
12		第3節 第二次世界大戦後の世界と 日本 【2学期期末考査】	ワ 定	ワ 定	
1	第3章 グローバル化と私 たち	第1節 冷戦と植民地化・第三世界の 台頭	ワ	ワ	観 提 発
2		第2節 世界秩序の変容と日本	定	定	
3		【学年末考査】			

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
地理歴史	〇加賀の自然と産業	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列人文コース、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	郷土である石川県について、自然環境・産業の側面から学んでいきます。加賀市を中心に石川県に焦点をあてながら、身近な地域の人々のくらしがどのようにつくられてきたのか考えますので、学んだことを意識しながら日々の生活を送ると学びがより深まると思います。			
教材 実習費等	<副教材> 東京書籍「ふるさと石川」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	加賀市、石川県についての基本的な知識を習得し、身に付けた知識や様々な資料から現在の加賀市・石川県の状況を理解するを身に付けている。	現代の加賀市、石川県にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する力を身に付けている。	加賀市や石川県の自然環境や歴史に関心を持ち、基本的な知識の修得および種々の問題解決にむけ主体的に学習に取り組む力を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	・石川の自然	(1) 郷土の地理的特徴、地政学的な位置づけ	ワ	ワ	観 発
5		(2) 郷土の気候			
6	・石川の産業	(3) 郷土の自然環境	ワ 定	ワ 定	観 発
7		(4) 郷土の生態系			提
		【1学期期末考査】			
9	・石川の未来	(1) 石川の第一次産業	ワ	ワ	観 発
10		(2) 石川の第二次産業			
11		(3) 石川の第三次産業	ワ 定	ワ 定	観 発
		(4) 片山津・山中・山代その他の温泉			提
		【2学期期末考査】			
12	・石川の未来	(1) 未来のまちと交通	ワ 定	ワ 定	観 発
1		(2) 高度情報化社会			提
		(3) 国際化			
		(4) 石川を支えて生きていくために			
		【学年末考査】			

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
公民	公共	2単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	卒業後の「成人」としての生活に直結する科目です。生活に困らないよう、しっかりと知識を身に付けましょう。 学びのヒントや深めるためのテーマは現実にかかる様々な出来事やニュースの中にあります。ニュースを見る習慣をつけましょう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社「高等学校 新公共」 <副教材> 第一学習社「新公共ノート 学習事項の整理と問題」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	今日の社会の仕組みがどのように成り立っているのかを理解し、それにはどのような課題が存在することを学ぶ。また、その理解のために適切な資料を収集・活用する技能を身に付けている。	今日的課題がなぜ生まれるのかを考える中で、公共的な見方・考え方を身に付けている。またそれを活かして様々な課題を解決する方法を考え、まとめ、発信する力を身に付けている。	学びの中で自ら今日の社会への疑問を探し、その解決を図ろうとするとともに、自らの学びを調節し、足りない部分を補うなどしながら、粘り強く学習に取り組もうとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	A 公共の扉	・公共的な空間をつくる私たち	ワ 定	ワ 定	観 発 提
5		・公共空間における人間としてのあり方生き方			
5		・公共的な空間における基本的原理			
5		【1学期中間考査】			
6		B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・法的な主体となる私たち	ワ 定	ワ 定
7	【1学期期末考査】				
9	・法的な主体となる私たち（続き）		ワ 定	ワ 定	観 発 提
9	・政治的な主体となる私たち				
10	【2学期中間考査】				
11	・経済的な主体となる私たち		ワ 定	ワ 定	観 発 提
12	【2学期期末考査】				
1	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・課題探究活動	ワ 提 発	ワ 提 発	観 発 提
2		・ケーススタディ			
3					

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
公民	政治・経済	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系人文コース、生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	1年生で学んだ「公共」をより深めていきます。今の世の中について理解を深める授業なので、日頃からニュースをチェックしておきましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「最新 政治・経済」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料収集し、その内容を理解した上で、有用な情報を選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する力を身に付ける。	現代の政治や経済、国際関係などの事象に関心を持ち、基本的な知識の修得および種々の問題解決にむけ主体的に学習に取り組んでいる。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	A 現代日本における政治・経済の諸課題	第1編 現代日本の政治 ・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 【1学期中間考査】	ワ 定	ワ 定	観 発 提
5		・日本の政治制度と政治参加	ワ 定	ワ 定	観 発 提
6	B グローバル化する国際社会の諸課題	第2編 現代日本の経済 ・現代の経済社会 【1学期期末考査】	ワ 定	ワ 定	観 発 提
7		・現代の日本経済と福祉の向上	ワ 定	ワ 定	観 発 提
9	B グローバル化する国際社会の諸課題	第3編 現代日本における諸課題の探究 【2学期中間考査】	ワ 定	ワ 定	観 発 提
10		・国際政治の動向と課題	ワ 定	ワ 定	観 発 提
11	B グローバル化する国際社会の諸課題	第2編 現代の国際経済 ・国際経済理論 【2学期期末考査】	ワ 定	ワ 定	観 発 提
12		・国際経済の動向と課題	ワ 定	ワ 定	観 発 提
1	B グローバル化する国際社会の諸課題	第3編 国際社会における諸課題の探究 【学年末考査】	ワ 定	ワ 定	観 発 提

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など